

一主婦からの新発田市政通

皆様これで良いですか

発行者 青木三枝子（市政を考える会）

新発田市御幸町 3-1-21

TEL 0254-26-8334

22号

平成 26 年 5 月 28 日 第 22 号

1 議会報告会に参加して

5月17日生涯学習センターで開催された議会報告会に参加しました。そこでの質疑応答から分かったこと等を報告します。

① 市税について

平成26年度歳入の中の、市税はわずかに増えていると報告されました。本当にそう言えるのでしょうか。広報で示されていたのは、あくまでも歳入の見込みであり決算ではありません。平成23年度と平成24年度の決算書を比較すると市税は減少しています。平成25年度の決算報告はまだ出ていないので市税が増えているとは言えません。また、市民税の負担が今年度から増えた事も数字上の市税が微増した要因とも考えます。市民が気付かない増税の一方で、歳出は大幅に増えています。市税が増えていると胸を張る状況ではないと考えます。

② エフエムしばたの経営は黒字化するのでしょうか。

ある議員により、エフエムしばたの経営は、もう少しで黒字に転換すると報告されました。私は、以前からエフエムしばたの経営には多くの税金が使われており、株式会社として成り立たないのではないかと疑問に思っていました。市政通信を出す上でも間違っただけではいけないので、いつ黒字に転換するのか、その根拠を数字で示して頂きたいと説明された議員にお願いしました。

③ 緊急告知エフエムラジオについて

新発田市とエフエムしばたが推奨している一台8500円のラジオではなく、安価で電池の要らない手回しラジオがよいのではと質問したところ、推奨するラジオは電源さえ入れておけば災害時にスイッチが入り緊急通報できると言われました。私は、もし電源が喪失すれば、電池の充電が必要になり役立たないのではありませんかと述べました。このラジオ自体がさらに小型化し、手回し充電もできると良いですね。緊急告知ラジオからの通報が夜中に突然に入り驚いた方や必要の無い情報があり迷惑していると訴える方もいます。伝え方を工夫してはどうでしょう。

私は結婚式の引き出物に3500円の携帯手回しラジオを貰いました。使用方法は簡便で携帯電話の充電もでき、懐中電灯としても使用できます。軽い為、今後はバッグの中に入れて持ち歩くことにしました。これこそ緊急時に役立つラジオだと感動しました。

④ 新発田市の人口について

以前、新潟日報に新発田市の人口が10万人を割ったという記事が掲載されていました。しかし、この議会報告会において、人口10万人は維持できていると報告されました。新発田市の今年4月時点での人口は、10万1346人、そのうち外国人が491人とのことです。市長は人口10万人を死守すると述べていると伝えられましたが、大切なことは、10万人を死守する事ではなく、新発田に住むことを誇りに思う人が増えることだと思います。

⑤ 陸上自衛隊新発田駐屯地について

新発田駐屯地が新発田城と共存することの危険性や自衛隊の固定資産税について質問された方がいました。その質疑応答において、この場所に弾薬庫があることを初めて知りました。現在は使用されていませんが、有事の際には使用される可能性があるとのことです。平成25年度は自衛隊基地交付金として新発田市に約5千7百万円が支払われたと聞いています。新発田城に隣接し、多くの住民が生活する場所と駐屯地が共存する事の危険性を思います。駐屯地があることで道路整備など恩恵を受けているとの説明がありました。新発田市は自衛隊に依存していることを改めて実感しました。新発田市は本当に住みよい田園都市なのでしょうか。

⑥ 市民の声を聞くという行政の姿勢について

新図書館の管理運営に関する請願書が4名の女性によって出され全議員の賛成をもって請願書が採択されていました。その請願書の内容は、図書館の運営に関しては、今後、時間をかけて図書館・利用者や市民・行政が一体となって話し合うという趣旨の請願書でした。この事から、今後、ワークショップと平行して委員会を立ち上げ、その中のメンバーには市民公募枠が設けられる予定でした。何人かの方達が、公募について、企画政策課や教育委員会、図書館に問い合わせても、担当課ではない、まだ決まっていないとすりぬけられるばかりで公募する気持ちは最初から無かったと思われる対応でした。結局、委員会なるものは立ち上げられず、市民からの公募もしないという結論を出しました。

請願書を提出した女性達は、ここで請願書の主旨に反すると訴えました。今後の各議員の行動や行政の対応をみたいと思います。

2 月岡温泉開湯百年祭記念式典見学ツアーとは

5月28日の記念式典見学ツアー参加に応募し当選しましたが断りました。今年度開始予定のしばたん観光バスツアー場所の周遊が出来ると思い込んで応募しましたが、今回、周遊は無く、単なる記念式典の為の人集め見学ツアーだと分かり断りました。

一昨年、同窓会を新発田市で行った際、月岡温泉への送迎バスの道すがら、五十公野公園のあやめを見たいという県外からの友人達の願いを叶えることができませんでした。また、月岡温泉宿泊と市島酒造や清水園を見学しただけで去ってしまう観光客の姿をみて残念に思うと共に、観光客に新発田市周辺地域をもっと見て貰う為の観光バスツアーがあればと考えていました。しばたん観光バスツアー事業開始前のこの行事に合わせて、試乗を兼ね周遊できるものと思っていたので残念です。

今後、市民の意見を広く聞く為の試乗機会があればと思います。また、市民自らに観光客をもてなしてもらう様、しばたん観光バスガイドを公募してはいかがでしょうか。